

スクラムについての考察

スクラムは形も機能もラグビー固有で独特のもので面白いものですが、ゴツゴツダダラで面白くなく、ラグビーそのものをも楽しくないものになってしまうもの一つになってしまっています。スクラムに対する既製概念を捨てて一からメカニズムなどの知識を整理し考え直すことが、ラグビーを楽しむのに大切だと思います。選手権試合で、大型チームが力まかせに、ポイントを越えるのも構わないような激しい勢いでぶちあたっていったのを、レフリーは反則をとし注意しペナルティを与えたのは適切なものでした。ファーストスクラムを特に重要視する偏った信仰も反省され初めているようです。

スクラムの目的を復習しましょう。

The purpose of the scrum is to restart play quickly, safely and fairly, after a minor infringement or a stoppage.

「軽度の反則あるいは競技の停止があったのち、早く、安全に、公平に試合を再開することである。」

確認しましょう。1. 早く、2. 安全に3. 公平に 試合再開が目的です。

双方が組んでボールをとりあうプレーで、20条に書かれている全てのことが、上の1~3のいずれかまたは全てに係わり、目的達成のために守らなければならない重要なことなのです。

ラグビーのルールには、次の3つの原則があります。制定の意図であるそれらは競技の方法であると同時に競技を楽しむ方法としても積極的に守らなければならないことです。

1. equal condition のもとに fair play をする
2. open play 全力で展開の継続を図る
3. safety 相互の安全と事故防止

そして、スクラムに関しては、上記のように定義を重ねて目的を明確にしています。

以上の目的に対して、スクラムの現実はどうでしょう。次のことが指摘されます。

- ・双方が必死で激しく組むことがエスカレートする一方である
(相手と慣れていないし身体がまだ十分動いていない時期でのファーストスクラムはスクラムの目的を確認しあい落ち着いて無理のないように組むべき)
- ・コラプションの反則の笛が一試合複数回あることがある
- ・笛が吹かれないうまでも落とし合いのかけ引きがささやかれている
- ・ボールインの前に激しく押し合う
(pushではなく shove という言葉を使い comfortable であることが要点です)
- ・無駄な時間(レフリーの注意指示も含めて)が空費されています。

総括的に、早く、安全に、公平にという目的が、勝利至上主義のもとに無視されているに近い状態と言わざるをえません。

現代ラグビーの中であるべきスクラムのモデルを提示されたがその方向には進化しませんでした。スクラムを一から研究し意識改革する事の必要性が言い出されています。

The Guide for Coaches で 3-2-3,3-4-1 が並べて提示され、望ましいスクラムの普及発展を図られました。

■ 3-2-3

1. All concentrate shove on opposition hooker.
2. Less demands on opposition props.
3. Own hooker involved in shoving and other tests of strength.
4. Own props badly aligned to resist strong opposition.

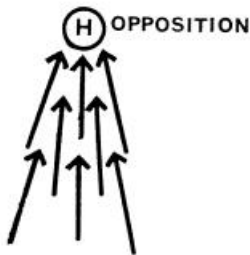


Diagram 2.

For: ADVANTAGES of 3-4-1, see normal text-books.

TIGHT HEAD (i.e., against the head) HOOK/HEEL, see filmlet, notes and Pamphlet V.

Often overlooked

PSYCHOLOGICAL ADVANTAGE (both DIRECT and INDIRECT) OF POWER SCRUMMING.

BASIS OF GOOD RUCKING IS SOUND SCRUMMING

i.e., COMFORT in scrums — EXTRA ENERGY in loose

☒ 3-2-3

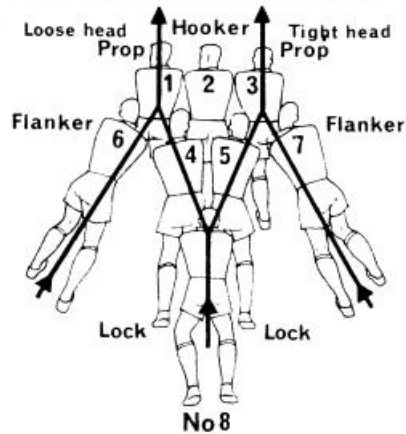
Quality Possession from
SCRUM

At all levels, 3-4-1 is infinitely preferable to 3-2-3 for several reasons.

The main points concerning mechanics are:—

A. 3-4-1

1. Shove concentrated on opposing props.
2. Own hooker has free movement, no shoving responsibility, concentrates on quality possession.
3. Own props square and resistant.
4. Flankers are most efficient when packing at a wide angle.



☒ A3-4-1

Principles of 3-4-1

1. Foot placing more important than shove to provide correct channel.
2. Concentration on snap shove and lock.
3. Watch mechanics—not 3-2-3 with flankers up.
4. Flankers pack down at wide angle and stay there.

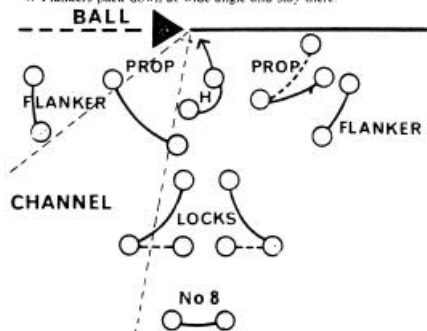


Diagram 3.

Important points to watch in scrumming:

1. All heads UP, except possibly hooker who must watch the ball in scrum-half's hands.
2. All forwards should attempt to see the ball into and through the scrum.
3. All forwards BIND TIGHT.
4. COMFORT is essential and so selection of forwards according to physique is vital.

Note: No. 8 is often superfluous on own ball, and can become extra back—numerous pl.s possible: only because of independence from flankers—compare 3-2-3.

3-4-1 足の位置

The main points concerning mechanics are:-A3-4-1 を注意してよみましょう。

Principles of 3-4-1 を注意して読みましょう。

3-4-1 の押しの方向、足の位置ボールの通路からみると、スクラムは力まかせにぶつかって、力まかせに押し合うプレーと考えてはいけなことが分かります。

プレーヤーはルールを守って、プレーヤーとしての役目を果たすべきです。過度に激しく組む危険と、崩れた時の危険は絶対に防がねばなりません。プレーヤーも指導者も競技規則の序文の青字部分を読み返し実行しなければ、事故の責任に加えて、ラグビー普及発展を阻害することの責めをも問われることになるのです。